

# Pathum Thani

ปทุมธานี

パトウムターニー

1日

1 วัน

599 บาท/人

ราคาเริ่มต้น 599 บาท/คน



1日目: バンコクを出発 - パトゥムターニー県 - チェディホーイ寺院 - マイハウスカフェ & ファーム - イン  
グナムサムコックマーケット - ボッド寺院 - パンヤーナンターラム寺院 - ドンヤイ寺院 - バンコク

(-/-)

08.00 時 : バンコクからパトゥムターニーまで約30分です。

09.30 時 : パトゥムターニー県に到着し、パトゥムターニー県の有名な寺院  
であるチェディホーイ寺院に旅行します。この寺院は、ラットラムケオ地区ボンゴエ  
ン区にあり、1995年に建てられたばかりです。サンソーン・クンタダーまたはトンダ



アン・スントロお坊さんが作成者です。寺院の歴史も非常に  
興味深いものです。ルアンポルタンがビルマで1年間巡礼し、  
プラアジャンシルバンタに会い、流暢になるまで魔法を学  
んだことから生まれたので、。カンチャナブリ県のカンチャ  
ナブリシーサワット地区オンチュク洞穴に戻りました。これ  
がビジョンの原点です 800万年前の現在、それはラタナワデ

ィーと呼ばれる大都市であり、ルアン・ポル・タン自身がこ  
この都市の知事でした。彼はビジョンを見つけるまでビジョンを求めて旅をし、この  
土地を修道院建設する意図を持っていました。薬用植物のために水を保つために池を  
掘っている間、彼は巨大な、埋められた、何千年も前の裸のカキに出くわしました。  
そして最後に、発見された巨大なカキの殻が仏塔を建てるために使用され、今日まで  
「チェディホーイ寺院」という名前が付けられました。この寺院の見どころは、観光  
客を驚かせる背の高い貝塔です。2つの仏像があります、最初のものは寺院の入り口に  
あります。

2つ目は寺院エリアにあります。また、寺院エリ  
アには、農業名所、ハーブ園、長船博物館、寺院が育  
てるナマズがたくさんいる大きな池、池の横に亀の池  
があります。





観光客は魚やカメを養うために食べ物を買うことができます。その後、1000マイハウスカフェ&ファームへ旅行します。ラーマ9世の足跡をたどる若者向けの農業学習センターです。また、レストランやカフェとしてもオープンしました。大きなチャムチュリーの木陰にエリアを配置します。ドリンク、コーヒー、アラカルトの食



事、サラダ、自家製ドレッシングなどを提供するシックなラウンジエリア。店内はまるで子供たちが遊ぶ王国のようです。フロントエリアは、養殖、採卵、ガーデニング、植樹、塩漬け卵作り、絵付け、カヤック、砂遊びなど、子供たちの活動ゾーンになっています。アヒルや鶏などのをファーム含む。家族旅行に最適な場所であり、子供たちに自然との共生を学んでもらうことができます。店の真ん中はカフェ

コーナーです。このゾーンは、冷やしたり、リラックスしたり、食事をしたりするのに適しています。真ん中には大きなジャムジュリーの木があり、日陰と二階を歩くことができるはしごを提供しています。そして、エリアの周りには、多くの写真アングルを含む多くの座席コーナーがあります。最も内側のゾーンは水辺の座席とさまざまなシッティングコーナーさらに、さらに、ここではサムコック寺院のイングナムマーケットへのボート乗りもあり、1人あたり5バーツでラウンドで提供されます。1000マイハウスカフェ&ファームは、家族の愛情とたくさんのアクティビ

ティが楽しめる、温かく優しいお店と見なすことができます。カフェの雰囲気を見て写真を撮った後、次に、小さな市場であるパトゥムターニーのサムコック地区にあるイングナムサムコックマーケットに散歩に出かけます。チャオプラヤー川の隣の古いコミュニティです。この市場の魅力はそのシンプルさです。自然と川で今も生きている村人たちの親しみ



やすさ。観光客は商人が明るく笑っている伝統的な古い市場を散歩することができます。地域の農産物も販売されており、美味しいものもたくさんあります。サムコック寺院のイングナムマーケットへの旅行には、車を駐車することができます。駐車場は3つあり、最も近い古い入国管理局です。



バントゥーイクラン寺院とバントゥーイノック寺院は約50分間路地に足を踏み入れなければなりません、または1,000マイのカフェからボートに乗る、ボートで、それぞれ1時間のラウンドがあります。サービス料はお一人様50バーツです。市場は少し静かで、お店はあまりありません。市場の雰囲気は約1kmの小さな散歩道です。

途中には村人の家があり、主に家の前で物を売るために持ってくる村人。麺、豚ナックル、茹でたカニ、パッタイ、あさりの揚げ物、中華デザート、地元の野菜、さまざまなタイのデザートなど、香ばしくて甘いものもあります。反対側には運河に架かる橋があり、市場に行くことができます。チャオプラヤー川につながる運河に沿って伸びる運河沿いのコミュニティの雰囲気を見ることができます。サムコック寺院のイングナムマーケットは大きな市場ではなく、たくさんの商品が売られていますが、途中でレストラン、カフェ、美しく装飾された、コミュニティの村人であるベンダーが親切でフレンドリーです。これは、水辺で古いコミュニティの雰囲気を訪れるだけで、パトゥムターニーの旅程に追加できるもう1つのチェックインポイントと見なされます。



昼 : 独立して食事を食べます。

午後 : ボット寺院への旅行します。または「ルアンフォトーオンヤイ寺院」は、パトゥムターニー県のサムコック地区にあります。ホンサワディーから移住したモーン族によって1621年に建てられました。



もともとはアユタヤ王朝時代の古い寺院でした。それは、パトゥムターニーの貴重な仏像と見なされている、神聖な仏像、ルアンポールアーのある寺院です。寺院周辺は美しい景がり、ボット寺院の位置はチャオプラヤー川の龍の腹にあります。ボット寺院は、アユタヤ王朝時代からの古い



寺院で、以前は

「ソイナンホン寺

院」と呼ばれていました。これは、ホンサワデーから移住したモーン族によって建てられたと考えられています。エリアごとにこのエリアに定住するサムコック地区は、ナライ大王の治世以来タイに移住したモーン族の大規模なグループであり、それ以来、この地域には多くのモーン族の移民がいます。



ラッタナコシン時代まで、この寺院の重要な仏像は「ルアンポールアー」。ルアンポールアーは、ルアンポールアーに長い間使用されてきた古い仏像です。教会のチュクチ基地のふもとに祀られている砂岩でできた仏像で、合計12枚の仏像があります。その後、1964年頃教会の中に仏像の頭を盗む泥棒がいました。そして、村人の信仰から頭を切り落とさなかったルアンポールアーだけが残ったので、村人の信念に従ってこの仏像を「ルアンポールアー」と呼びました。あなたがルアンポールアー崇拜し、金で覆うようになるなら、幸運で安全であること事故からの脱出。残りのお金があります。その隣には、お香やろうそくを灯したり、大きなルアンフォトーの前に祀られている小さなルアンフォトーのように像を金メッキしたりするために寺院が配置したパビリオンがあります。後ろには、12月5日の王陛下の80歳の誕生日を記念して建てられた、曲がった大聖堂に囲まれたルアンポルトーのダルマグラウンドがあります。





また、寺院エリア内には、おいしいものを売るゾーンがあります。次に、パトゥムターニー県クローンルワン地区のクローンルワン地区にあるパニヤンタラム寺院に旅行します。有名な寺院です。チョンラトソンサリット寺院の元修道院長であるルアンポルパニヤンタフィックが創始者であり、実践の場となることを目的として建

てられた寺院です。印象的な構築物は、インドのブッダガヤの仏舎利塔のレプリカです。そしてもう一つの重要なハイライトは、ブッダガヤの仏塔の下に表示される世界で唯一の3Dダルマパズルです。観光客が写真を撮ることができる、各写真には四諦の主題における道徳的・道徳の意味があります。入場無料です。誰かが信仰を持っているなら、彼らはメリットキャビネットを入れることができます。四諦のすべての画像は、実際の図面やインスタレーションの前にレビューされた解釈の礼儀です。パニヤンタムニーお坊さんから、チョンプラタンランサリット寺院の修道院長。とプラマハシャロエム ピヤダッシーはパニヤンタラム寺院寺院の修道院長です。知恵の場である寺院の雰囲気と完璧に、調和して、調和して四諦の物語を伝えることができるタンヤブリー大学の職員と学生によって描かれました。世界の日常生活で発生する苦しみを知るための知恵にアクセスするために、四諦に仏教の教えを挿入することによって、合計29枚の絵画があります。なぜなら、世の中の日常生活の中で起こっている苦しみを知る知恵を得るには、仏陀の高貴な真実についての教えを理解しなければならないからです。訪問者は芸術作品を体験することができます。それはあなたに教義を考えさせ、実現させる写真と一緒に経験を生み出します。ここのすべての写真には、寺院の全体的な雰囲気、ダルマの説明があります。美しく、日陰で、法の修行に適した場所として適しています。寺院が主催するさまざまな仏教活動に参加するために、村人や信仰を持った人々が参加します。



仏教徒は、長い間受け継がれてきた伝統があり、毎週土曜日、日曜日、または宗教的な日に叙階活動に参加する。敬意を表して功德を上げた後、1996年にラムルークカー郡8の重要な仏教徒の場所として建てられたドンヤイ寺院に旅行します。寺院の中には記念碑もあり、ナレースワン大王、タクシン大王、プラピヤ大王などの重要な君主。



主。寺院の敷地の外には、魚を養うための養魚池もあります。礼拝堂は銀と白で、仏陀の教えに従って四面体に建てられたきらびやかな太陽を反映しています。

この礼拝堂は純粋な白と銀の色をしています。礼拝堂の周りの蓮の花びらは金色です。この本堂はパトゥムターニー県にあるため、「ウボソットヘンナイプラパトゥムトン」と名付けられています。礼拝堂の中には、「ソムデットプラスワンパトゥムプッタポジャバラポン」という名前の大きな白い仏像、または、多くの人が「チャイディーマンミーシースクお坊さん」と呼んでいます。

誰かがこの本堂に来て、祝福を求めるならば、彼らは彼らが望むもので成功するだろうという信念によると。礼拝堂の前には、ソムデット・トー・プラ・ブッタチャン・トーのレプリカが飾られた古いウボソットがあり、オマーージュを支払う。また、寺院には幸運を求めるために寺院を訪れる人々のため、アイカイの像もあります。ギャンブラーが幸運を証明するための聖水浴があります。寺院の中には庭風の広々とした空間があります。



自然の雰囲気は日陰で快適で、信念によれば、この本堂で祈る人は誰でも人生で成功する。寺院の精舎エリアには、ルアンフォドンヤイ、ルアンフォダム、ガネーシャ、ブラフマー、ジャトゥカムラマセップ、サオテープタンジャイなどの他の多くの神聖なオブジェクトがあり、さまざまな重要な君主の記念碑も建てられています。



夕方 : その後、パトゥムターニーからバンコクに約30分で戻って旅行します。

19.00 時 : 安全にバンコクに到着。

## サービス率

	値段
一人様あたりの開始価格	599.- バーツ

### このサービス料金には以下が含まれます。

- ルームサービス料
- VIP エアコン付きバン (プログラムに従って旅行)
- 飲料水 1 本/日
- 旅程で指定されたアトラクションへの入場料
- 旅行中のツアーガイド

ポリシーに従った旅行傷害保険費用 1 人あたり 50 万バーツの医療費、または死亡した場合、保険会社の条件 により、1 人あたり 1,000,000 バーツが上限です。健康保険は含まれていません。

- 食費、旅程で指定された項目に従って。
- リストに指定されている標準的なホテル料金 (1 部屋あたり 2~3 人)

### このサービス料金には含まれていません。

- 客室内のミニバー (該当する場合) と個人的な費用 リストに指定されているもの以外。
- 菜食主義者、ビーガン、またはイスラム教徒のための食事料金。
- 実際の支払いに基づく外国人の追加入場料。
- バン予約料。
- Vat 7%、源泉徴収税 3%
- ドライバーとガイドのためのヒントは一人あたり 300 バーツです。